

百年戦争

ノルマン朝

ノルマンディー公ギョーム（ウィリアム）

1066年 ヘイスティングスの戦い

ノルマンディー公国とイングランド王国の同君連合

1086年 ドゥームズデイ・ブック作成

領主貴族 180名（内アングロ・サクソン系 6名）

アンジュー帝国

アンリ・ド・プランタジュネ（ヘンリー二世）

アンジュー、メーヌ、トゥーレーヌ

母はノルマンディー公女・イングランド王女マチルダ

イングランド、ノルマンディー

アリエノール・ダキテーヌと結婚（1152年）

アキテーヌ

ブルターニュ公領にも影響力行使

ピースの寄せ集め

長男アンリ

王冠とイングランド、ノルマンディー、アンジュー、メーヌ、

トゥーレーヌ

次男リシャール（リチャード一世）

アキテーヌ

三男ジョフロワ

ブルターニュ公女コンスタンスに婿入り

四男ジャン（ジョン）

相続分無し→欠地王子

シノン、ルーダン、ミルボー

一族の争い

ジャン（ジョン）王

アングレーム伯女イザベルを横取り→ラ・マルシュ伯と対立
フィリップ、ジャンを召喚、拒否、領地没収（1202年）

アンリ（ヘンリー3世）

1259年 パリ条約 ガスコニュー付与

百年戦争

原因

アキテーヌ問題

臣下の礼

フランドル羊毛問題

アキテーヌ（ギユイエンヌ）の領有問題

フランス王位継承問題

経過

1337～1453年：116年間

戦争期間：1337年～1357年、1369年～1384年、1415年～1420年、
1428年～1444年、1449年～1453年：60年間

休戦期間：1357年～1369年、1384年～1415年、1420年～1428年、
1444年～1449年：4回、56年間

1346年 クレシーの戦い

1356年 ポワティエの戦い

1357年 ボルドー休戦協定→1360年 カレー本条約

↓

1369年 戦争再発

1384年 休戦協定の成立→1396年 パリ休戦協定締結

↓

1415年 ヘンリー五世、アザンクールの戦いでフランス軍を破る

- 1420年 トロワ条約→ヘンリーとカトリーヌの婚約
- 1421年 ヘンリー五世、フランス王を宣言 ↓
- 1428年 オルレアンの攻防（～1429年）
- 1431年 ジャンヌ処刑・ヘンリー六世、フランス王即位
- 1436年 パリ奪還
- 1444年 休戦協定
- 1449年 ノルマンディー遠征
- 1453年 アキテーヌ遠征→百年戦争終結

シャルル五世の王国建て直しと反撃（1364－80）

ジャックリーの乱（1358.5.28）

年貢：王領地からのみ徴収

臨時課税：全王国から徴収

常備軍の設置

重装騎兵 2,400 騎、弩騎兵 600 騎、弩歩兵 400 名

デュ・ゲ克蘭の登用

ブルターニュ公と縁戚関係

カスティーリア内紛に介入

アキテーヌ大公領没収宣言と侵入

ガスコーニュ諸侯と連携

1375年 ブリュッヘ休戦協定

カレー、ボルドー、バイヨンヌに限定

ブルターニュ公領没収宣言

重税反対運動

直接税廃止（1380）

シャルル六世とヘンリー五世

シャルル六世

ベリー公ジャン、アンジュー公ルイ、ブルゴーニュ公フィリップ、

ブルボン公ルイ：叔父たち

- 1388 親政宣言
オルレアン公ルイ（王弟）重用
- 1392 狂気発作
- 1400 全く政治がとれず
→オルレアン派とブルゴーニュ派の対立
- 1407 オルレアン公ルイ暗殺
- 1411 ブルゴーニュ派とアルマニャック派の対立に発展
→武力闘争
- ヘンリー五世の反撃
- 1412 即位（25歳）
- 1414 アキテーヌ、ノルマンディー、アンジューの返還とフランス王位要求
- 1415 ノルマンディー上陸→アザンクールの戦い
イギリス軍：12,000、フランス軍：5万
戦死者1万（オルレアン公シャルルは捕虜となる）
↓
ブルゴーニュ公ジャン
- 1418 王太子シャルルとアルマニャック派追放
- 1419 ブルゴーニュ公ジャン暗殺
↓
イギリスとブルゴーニュ公フィリップ（美公）との同盟
- 1420 トロワ条約
王女カトリーヌとヘンリー五世の結婚
ヘンリー五世をシャルル六世の息子、相続者とする
摂政としてシャルル六世を補佐
ノルマンディー公国を保有
王太子シャルルの廃嫡
- 1422 ヘンリー五世、次いでシャルル六世没

シャルル七世とヘンリー六世

ベッドフォード公ジョン（王弟・摂政）

ブルゴーニュ公フィリップはフランドル、イギリス本国はスコットランド政策に集中→孤軍奮闘

1428 オルレアン包囲

1429 ジャンヌ・ダルクの登場

→オルレアン入城→イギリス軍、オルレアン撤退
シャルル七世の戴冠（ランスにおいて）

1430 ジャンヌ・ダルク捕らえられる

1431 火刑に処せられる

アラスの休戦

ブルゴーニュ派とシャルル七世

1435 アラスの講和

イギリスは会議より離脱

イギリス・ブルゴーニュ同盟の崩壊

ベッドフォード公の死

シャルル七世の攻勢開始→イル・ド・フランスの確保

1442 アキテーヌへの攻勢

1444 トゥール休戦条約

メーヌ返還を約束

1448 ル・マン占領

1449 トゥール休戦条約の破棄と戦争の再発

ノルマンディーへの攻勢

1451 アキテーヌへの攻勢

1453 ボルドー占領、百年戦争の終了

結果

フランス王の国土統一

国内諸侯の抑圧

勅令隊（常備軍）創設

財政機構の整備